

【平成 29 年6月期 小規模企業景気動向調査報告書】**静岡県商工会連合会**

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 29 年 6 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 29 年 6 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 89%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）**【6月期の産業全体の業況 DI は前月に続き好転】**

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-10.1（前月-12.5、前年同月-18.8）で、前月と比べ 2.4pt 好転した。10 業種中 5 業種が好転を示した。前月は 10 業種中 8 業種が好転し、今期は 3 業種減少したが、建設業と衣料品小売業が大きく好転したため、全体の DI 値では好転した。製造業では車両関係の部品製造・加工企業は好調であるとのコメントが複数あり好転を示している。また、建設業では受注はあるものの利益幅が薄いとのコメントが複数あった。

【製造業】

業況は-3.0（前月-4.2、前年同月-15.8）と前月と比べ 1.2pt 好転した。金属部品加工企業、自動車関係は、順調であるとのコメントが複数あった。人出不足の企業が求人を行っても応募者がいないため、職安から求人の条件を見直すように連絡があるとの話を聞くとのコメントもあった。

【建設業】

業況は-2.9（前月-15.6、前年同月-2.6）と前月と比べ 12.7pt と前月と同程度の好転を示した。で人手不足が問題であり続けている。業務繁忙な建築業者がいるものの、受注条件が厳しく、外注費も増加している模様。採算性について注意して確認を行ってほしいとのコメントがあった。

【小売業】

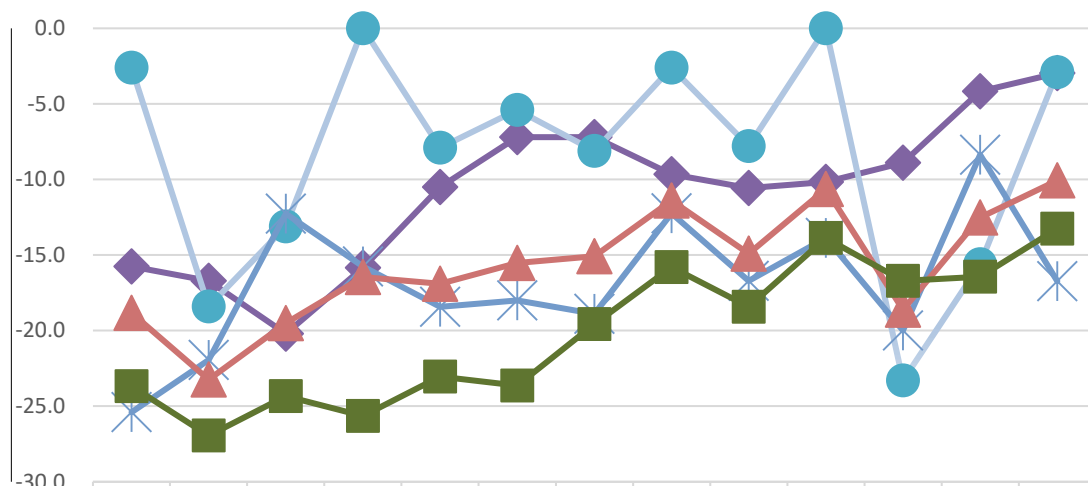
業況は-17.7（前月-21.9、前年同月-31.6）と前月と比べ 4.2pt と好転した。家電販売店では、冷房機器の購入、設置、修理の注文が増加している模様とのコメントがある一方、中山間地域の商工会からは人口の減少、消費低迷の動きは止まらず低調に推移しているとのコメントがあった。

【サービス業】

業況は-16.7（前月-8.4、前年同月-25.4）と前月と比べ 8.3pt 悪化した。〈旅館〉GWと夏休みの谷間となる 6 月は例年宿泊者数が少ない状態で安定してしまっている。旅館の二極化（入込客のバラつき）が進んでいるように感じている。（食堂）町内でも地域によりバラつきがある。昨年に比べ増えてはいるが消費喚起までは至っていない。観光地では若者が増加しているが、受け入れ態勢が整っていない。（理髪店）6 月は来店が多かったがお客様の顔ぶれは変わらないため、前倒しになっただけと思われる。新規のお客様を獲得していかなければならないとのコメントがあった。

3 本調査に関するお問合せ静岡県商工会連合会情報・経理課 TEL054-255-8080〔担当：中野、吉本〕

＜平成29年6月期 業種別業況DI推移表＞



	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6
DI値(製造業)	-15.8	-16.7	-20.2	-15.8	-10.5	-7.2	-7.2	-9.7	-10.6	-10.2	-8.9	-4.2	-3.0
DI値(建設業)	-2.6	-18.4	-13.1	0.0	-7.9	-5.4	-8.1	-2.6	-7.8	0.0	-23.3	-15.6	-2.9
DI値(サービス業)	-25.4	-21.9	-12.3	-15.8	-18.4	-18.0	-18.9	-12.2	-16.7	-13.9	-20.0	-8.4	-16.7
DI値(全業種平均)	-18.8	-23.2	-19.5	-16.5	-16.9	-15.5	-15.1	-11.4	-14.9	-10.6	-18.6	-12.5	-10.1
DI値(小売業)	-31.6	-35.9	-32.4	-34.2	-30.7	-31.5	-26.1	-21.1	-24.6	-18.5	-22.3	-21.9	-17.7

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- ・食品製造業は地元食材の引き合いがあり売上げは上々だが原材料の高騰している食材があり価格に転嫁できず利益を圧迫している。(伊豆)
- ・鉄骨建設関連は当地区会員全社が仕事量増加、人手が足りず、求人募集するも人が集まらず、定着率も悪い。(中東遠)
- ・木材加工:東京オリンピックに向けて動き出しているためか、都市部からの受注が増加。(西遠)

【建設業】

- ・長期にわたり人員の確保に苦慮している。外注に頼るケースも増利益率は下がっている(中東遠)
- ・新築の受注は量・金額ともに年々減少している。小規模建設業者は小口のリフォームに流れざるをえなくなっている。そのため、他との差別化を図りPRすることがより重要になってきた(中東遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- ・魚の寄生虫「アニサキス」の警戒から、生魚離れが進む。スーパー、コンビニ等へ客足が流れている為、小売店の業況は悪化をたどっている。(伊豆)
- ・国産小麦粉の仕入れ値が徐々に上がっている。こだわった原材料を使用していることを周知していかなければお客様に選ばれなくなってしまう(和洋菓子)。た(中東遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・大手チェーン店やコインランドリーの出店や生活様式の変化から注文が年々減っている。個人店の強みを発揮できなければ淘汰されてしまう(クリーニング)。(中東遠)
- ・空梅雨と直虎効果で宿泊は、前年比10%の伸び。直虎航路の運航及び周辺施設は、大河ドラマ館と駐車場の往復で客足が伸びない状況にある。(西遠)

小規模企業景気動向調査(平成29年6月末)

1.食料品製造業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-3.0	-6.3	好転
売上	-3.0	-0.1	減少
仕入単価	2.9	-3.1	上昇
採算	-5.9	-12.6	好転
資金繰り	-8.9	-6.3	悪化

2.繊維工業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-3.0	0.0	悪化
売上	-8.9	0.0	減少
仕入単価	8.8	6.3	上昇
採算	-5.9	0.0	悪化
資金繰り	-2.9	-3.1	好転

3.機械金属業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-2.9	-6.2	好転
売上	17.6	12.5	増加
仕入単価	11.7	15.7	低下
採算	8.8	-6.2	好転
資金繰り	0.0	0.0	不変

4.建設業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-2.9	-15.6	好転
売上	5.9	-6.2	増加
仕入単価	14.7	15.7	低下
採算	-5.9	-15.6	好転
資金繰り	-14.7	-12.5	悪化

5.衣料品小売業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-26.5	-40.6	好転
売上	-14.6	-28.1	増加
仕入単価	8.8	9.4	低下
採算	-11.8	-15.6	好転
資金繰り	-17.6	-25.0	好転

6.食料品小売業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-5.9	-6.3	好転
売上	2.9	6.2	減少
仕入単価	14.7	25.0	低下
採算	-8.8	-18.7	好転
資金繰り	-2.9	0.0	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-20.6	-18.8	悪化
売上	-14.7	-3.1	減少
仕入単価	14.7	6.3	上昇
採算	-23.6	-6.2	悪化
資金繰り	-20.6	-18.8	悪化

8.旅館業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-3.0	3.1	悪化
売上	-17.7	-3.1	減少
仕入単価	11.8	6.2	上昇
採算	0.0	0.0	不変
資金繰り	-11.8	-3.1	悪化

9.洗濯業

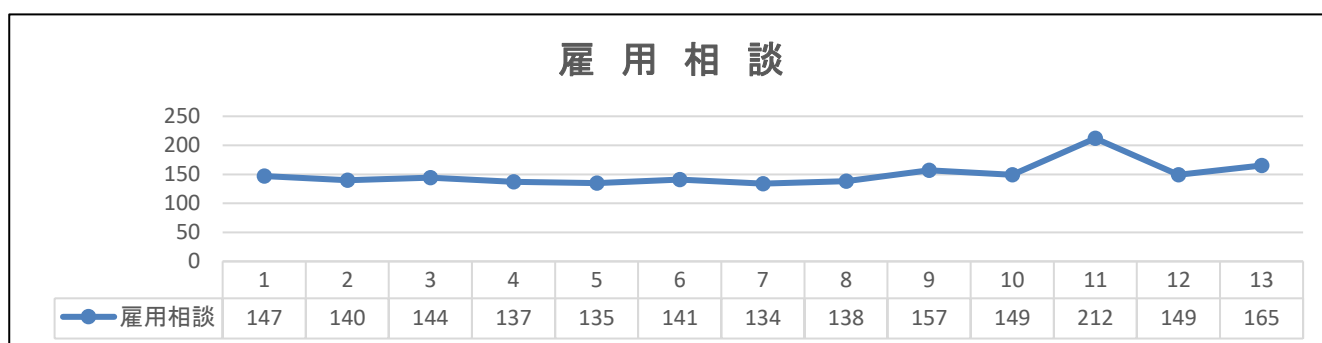
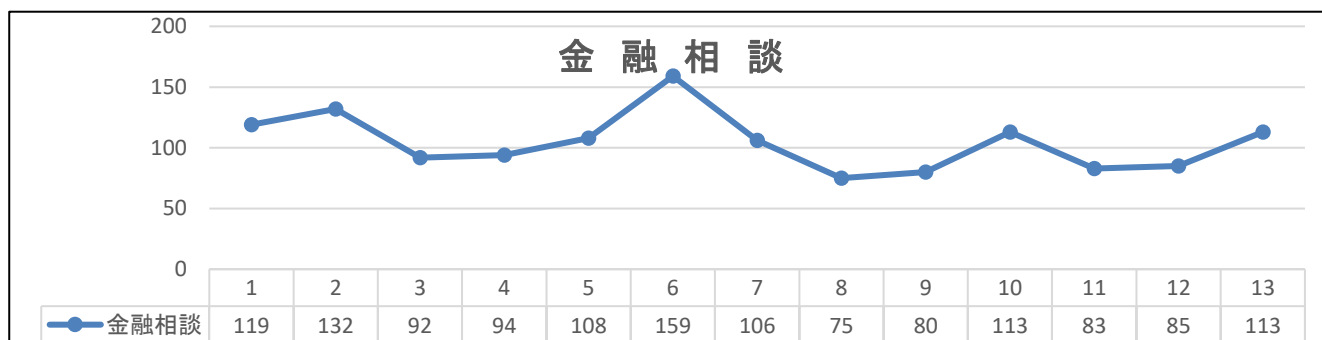
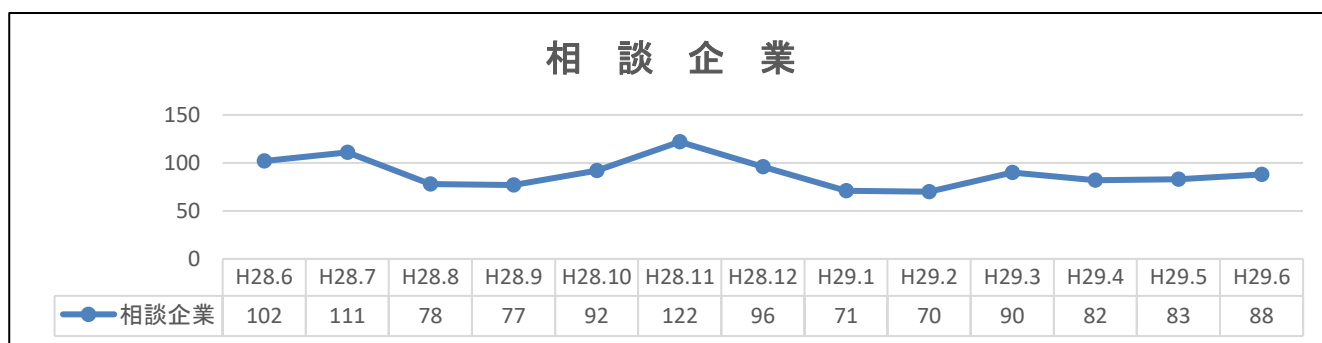
	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-23.6	-12.5	悪化
売上	0.0	0.0	不変
仕入単価	17.6	21.9	低下
採算	-3.0	3.1	悪化
資金繰り	-14.7	-3.2	悪化

10.理美容業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-23.6	-15.7	悪化
売上	-8.8	-6.2	減少
仕入単価	2.9	6.3	低下
採算	0.0	-3.1	好転
資金繰り	-2.9	0.0	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(平成 29 年6月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	88	83	5
【金融相談件数】	113	85	28
新規融資（借換えを除く）	78	60	18
既存債務の借換え	27	17	10
借入れ条件変更	1	1	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	7	7	0
【雇用相談件数】	165	149	16



【金融相談】

金融相談件数は、113件と前月(85件)に比べ28件増加した。相談内容については、**新規融資**、**既存債務の借換え**の相談が増加した。

＜経営指導員コメント＞

- ・運輸業：取引先が自社製品の運搬を外部委託するようになり受注増加。1台トラック増車の資金相談。建設業：公共工事減により売上減少。諸経費支払資金の申込み。(伊豆)
- ・1日公庫に向けた金融相談が増えた。(伊豆、中部)
- ・設備資金の相談が増加した。(中部、西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、165件と前月(149件)に比べ16件増加した。

＜経営指導員コメント＞

- ・人手不足が顕著で菓子製造業では、週1日の定休日を2日に営業時間も短縮して対処している。(伊豆)
- ・介護関係や建設業と同様、旅館業でも人手不足が続いている。(伊豆)
- ・社会保険の未適用事業所について、年金機構の追及が厳しく、加入させられる事業所からの相談が多くなっている。また、従業員の退職時における、有給休暇消化についての相談も多くなってきている。(西遠)
- ・空き店舗を活用し、そば店がオープン。大変な賑わいを見せ繁盛しているが、従業員が集まりにくく業務拡大について雇用問題の解決を探る。(西遠)
- ・建設業で若者の人手不足により、技術の伝承が出来なくなっている。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・ラグビーワールドカップのテストマッチが当市スタジアムで開催され、商工会職員も最寄駅にて特産品PRで参加、当会会員事業所はスタジアムに出店し特産品やB級グルメの販売で参加。試合チケットは32,000枚ほど売れたが、当日来場者は27,000人程であった。(中東遠)
- ・昨年と同じように6月に入り、シラス漁が不漁となった。6月以降不漁となるのはここ数年の傾向に顕れている。アサリ漁も不振で、アサリ漁師はアルバイト等に出向いている。すべての業種に影響を及ぼし、特に小売業は不振、チラシを入れても効果が見られない状況である。(西遠)